

第 53 回学術講演会（ファジィフロント）のお知らせ

日本知能情報ファジィ学会関東支部では、下記のとおり、テレビゲームをめぐる学術講演会を開催いたします。どなたでも自由に参加できますので、お誘い合わせの上、直接会場までお越し下さい。

■テーマ：『テレビゲーム産業の光と陰』

1983年に任天堂からファミリーコンピュータ（ファミコン）が発売されて以来、テレビゲームは日本の家庭に浸透するとともに、テレビゲーム産業は大きな発展を遂げ、日本における重要な輸出産業の一つともなっている。また、テレビゲームは人間の優れた発想力、創造力の成果として生み出されたものであり、その要素技術は情報化社会のさまざまな場面で生かされている。

しかし一方で、テレビゲームへの没頭が子どもたちの発達に悪影響を及ぼすのではないかという懸念がたびたび議論されてきた。特に、青少年の凶悪な犯罪が発生するたびに、テレビゲームの影響が取り沙汰されてきた。

そこで本学術講演会では、テレビゲーム産業をめぐる2つの異なる側面にスポットを当てる。講演者には、テレビゲーム産業とともに歩んでこられたベンチャー企業経営者 橋下友茂氏と、テレビゲームの心理的影響に関する研究の第一人者である社会心理学者 湯川進太郎氏をお招きした。

■主催：日本知能情報ファジィ学会関東支部

■日時：平成17年11月26日（土）14：00～17：00

■場所：筑波大学 茗荷谷キャンパス G304 室

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅下車徒歩3分

http://www.tsukuba.ac.jp/navi/img/tokyo-campus_b.gif

■参加費：無料（資料代500円）

■スケジュール：

14：00～15：15 社会に資するテレビゲーム

橋下友茂（有限会社ソフトニカ）

情報化社会が進み、エンタテインメントの分野においても電子化が浸透してきた。そのようななか、ゲーム業界の成熟化、大学などの教育機関におけるゲーム関連講座の開設、ゲーム研究、さらにはゲームの多方面への応用も進んでいる。また、国の政策において、日本の文化としてアニメーションなどと並んでゲームに対しても助成金制度が確立されつつある。このようなゲームのプラスの側面に着目し、実例も含めて論じる。

15：15～15：45 休憩

15：45～17：00 暴力的テレビゲームと攻撃

湯川進太郎（筑波大学大学院人間総合科学研究科・心理学系）

近年、テレビゲームは技術的にも内容的にもめざましく発展している。こうした中、青少年による犯罪が起こるたびに、暴力的なテレビゲームがプレイヤーの攻撃性・攻撃行動に及ぼす影響が取り沙汰され、様々な議論がなされるのが常である。しかし実際は、実証研究が乏しいまま、議論だけが先行しているのが現状である。今回は、欧米における研究の概観と、メディア暴力の理論、および我が国における実験研究について紹介する。

■講演者紹介：

橋下友茂（有限会社ソフトニカ 代表取締役）

1958 年生まれ。桐蔭学園高等専門学校卒業。1978 年大森電機工業入社するも、1982 年ゲーム
ゲームプログラムコンテスト入賞を受けて退社し、ゲーム制作会社を設立し、本格的なゲーム
制作活動に入る。ゲーム専門学校講師、桐蔭横浜大学非常勤講師などを歴任。代表的な作品に、
バクテリアエスケープ (エニックス)、バレーボール (任天堂)、新鬼が島 (任天堂) などがあ
る。

湯川進太郎 (筑波大学大学院人間総合科学研究科・心理学系 講師)

1971 年生まれ。1994 年早稲田大学第一文学部哲学科心理学専修卒業。1999 年筑波大学大学院
博士課程心理学研究科修了。博士(心理学)。日本学術振興会特別研究員、筑波大学心理学系助
手、東京成徳大学人文学部臨床心理学科講師を経て現在に至る。専門は社会心理学、臨床社会
心理学、感情心理学。

■問合せ先：

山下利之：首都大学東京 工学研究科 インテリジェントシステム専攻

E-mail : tyamash@cc.tmit.ac.jp, Tel : 042-585-8616, Fax : 042-583-5119

横川壽彦：帝京平成大学 現代ライフ学部 人間文化学科

E-mail : yokogawa@thu.ac.jp, Tel : 0436-74-7055, Fax : 0436-74-3970